



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

Technical Service Data Sheet

ユカクリート AU

薄膜溶剤2液型アクリルウレタン樹脂系塗床材

非鉛・クロム



ユカクリート AUは特殊アクリルウレタン樹脂を使用した2液型塗床材です。耐候性・耐薬品性に優れ、美しい色彩を長期にわたり維持します。



特 長

- ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。
日塗工登録番号 D01175
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)
- 硬化が速く、光沢のある美しい塗面が得られます。
- 耐候性に優れ、長期間にわたり美しい床を維持します。
- 耐薬品性に優れ、殺菌剤での清掃も可能で、清潔で衛生的です。
- 耐摩耗性に優れています。
- 乾燥塗膜は上水に対して有害物の溶解がありません。
- 豊富な標準色は、作業スペースを塗り分けることにより安全と作業効率の向上に役立ちます。

用 途

- 耐薬品性が必要な化学品工場などの床
- マンションなどの廊下
- 食堂などの清潔さを要求される床
- ユカクリートスタンダード、タイル#70などのエポキシ系塗膜の屋外用トップコート
- プールサイドの防滑塗装

SINCE 1932.

DAIDO CORPORATION®

標準塗装仕様

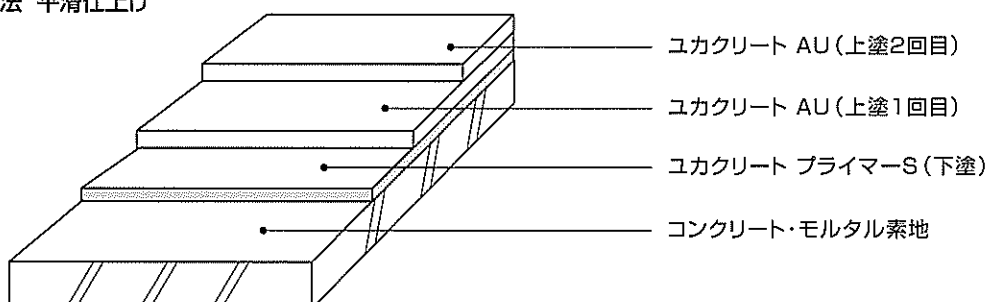
■コーティング工法 平滑仕上げ

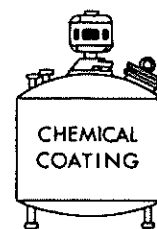
工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)
1 下地		下地モルタル及びコンクリートは、金ゴテ仕上げで、十分に強度のあるものとし、 通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2 下地処理		1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じてクラック、穴などを補修します。		
3 下塗	ユカクリート プライマーS	主剤と硬化剤を2:1(質量比)で混合し、ユカクリート シンナーEPで0~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.10~0.15	3時間以上 48時間以内
4 上塗 (1回目)	ユカクリート AU	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合し、ユカクリート シンナーUで10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.13~0.15	5時間以上 7日以内
5 上塗 (2回目)	ユカクリート AU	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合し、ユカクリート シンナーUで10~20%(質量)希釈して、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.13~0.15	

施工上の注意

1. 下地が新設コンクリート以外の場合はご相談下さい。
2. デジタル式水分計は、(株)ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
3. 同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。
4. 施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
5. 主剤と硬化剤の混合は必ず電動ミキサーで行って下さい。
6. 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を秤で量って使用して下さい。目分量の塗料調合では適正な塗膜性能が得られません。
7. シンナーは指定のものを使用して下さい。プライマーSとAUとではシンナーが異なりますので、注意して下さい。
8. 特殊なコンクリート面(カラークリート、フェロコン、強化コンクリートなど)の場合は、ユカクリート 強化コンクリート用プライマーをご使用下さい。
9. 気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。
10. 施工中、養生期間中は換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
11. 可使時間を超えても塗料は流動性を保っていますが、2液型塗料の特徴として色調変化が激しくなる場合がありますので、塗料は可使時間内に使い切して下さい。
12. 床面に貼り付けたラインテープを取り除く際、塗膜が剥れる場合があります。
13. 抗菌仕様が必要な場合はご相談下さい。

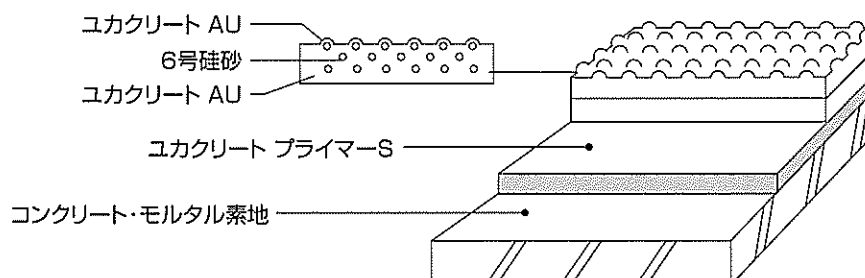
■コーティング工法 平滑仕上げ





■防滑仕上げ

ユカクリート AUを塗付し、直後に6号硅砂0.1~0.2kg/m²を散布して下さい。乾燥後、余分な硅砂を取り除き、ユカクリート AUを1~2回塗装して下さい。ユカクリート AUと砂散布は、特にムラのないよう注意して施工して下さい。



可使時間と硬化時間

単位:時間

品名		10℃	20℃	30℃
ユカクリート プライマー-S	可使時間	8	4	2
	硬化時間	6	3	2
ユカクリート AU	可使時間	8	4	2
	硬化時間	10	5	3

容量と配合比

品名	材質	配合比 (質量)		容量		ホルムアルデヒド放散等級 日塗工登録番号	
		主剤		主剤			
ユカクリート プライマー-S	エポキシ系	主剤	2	15kgセット	主剤	10.0kg	F☆☆☆☆ D01159
		硬化剤	1		硬化剤	5.0kg	
ユカクリート AU	ウレタン系	主剤	4	15kgセット	主剤	12.0kg	F☆☆☆☆ D01175
		硬化剤	1		硬化剤	3.0kg	

■1セットの塗装面積

ユカクリート プライマー-S : 100~150m²/1回

ユカクリート AU : 100~115m²/1回

その他の注意

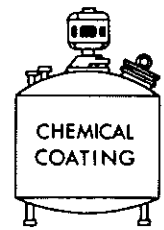
1. 硬化剤を小出しに使用していると、その度に缶内にフレッシュエアが入り込み、それに含まれる水分が硬化剤と反応してゲル状を呈することがあります。
2. 施工に当たり現場固有の事象ある場合や塗料の性質・性能・使用方法等についてご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS
AND SERVICE.

ユカクリート AU

薄膜溶剤2液型アクリルウレタン樹脂系塗床材



標準色

No.10 グリーン	No.11 パームグリーン	No.13 パウダーブルー
No.14 ベネチャンレッド	No.17 グレー	No.18 ターフグリーン
No.20 モスグリーン	No.21 エメラルドグリーン	No.22 ライトグリーン
No.23 ペールグレー	No.24 ライトグレー	No.26 ライトブラウン
No.27 クリーム	No.28 ライトベージュ	No.29 グラスグリーン
No.30 オリーブグリーン	● ライン用イエロー	

※ボージンコート、ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。

性能

項目	結果	試験方法
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる	JIS K 5600-1-1 4.1
塗装作業性	塗装作業に支障がない	JIS K 5600-1-1 4.2
塗膜の外観	塗膜の外観が正常である	JIS K 5600-1-1 4.4
被塗面との適合性	異常なし	JIS K 5600-3-4
耐摩耗性	3.6mg	テーバー式 CS-17 4.9N 100回転
	111mg	日本塗床工業会 テーバー式 CS-17 9.8N 1000回転
耐衝撃性	衝撃による変形で割れ、はがれを生じない	300g 30cm
	合格	JIS K 5600 5-3 1/2インチ 500g 50cm
耐水性	水に規定時間浸したとき異常がない	JIS K 5600 6-1 6時間浸せき
	異常なし	水道水 1か月浸せき
耐アルカリ性	アルカリに規定時間浸したとき異常がない	6時間浸せき
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1 デンケーター法
乾燥時間	指触10分 硬化5時間	23℃、50%RH
鏡面光沢度	90	JIS K 5600-4-7 60度
耐屈曲性	φ2mm 合格	JIS K 5600-5-1
耐カッピング性	6mm	JIS K 5600-5-2
引っかき硬度(鉛筆法)	H	JIS K 5600-5-4
引張接着強さ(MPa)	2.9	建研式接着力試験器
促進耐候性	異常なし	紫外線ウェザーメーター 1000時間
耐温水性	異常なし	40℃温水 7日間浸せき

※塗膜物性の試験結果は、実測値であり保証値ではありません。

SINCE 1932.
 **大同塗料株式会社**

ISO 9001 (滋賀工場)

本社	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6288 FAX.06 (6308) 3618
東京支店	〒135-0031	東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03 (3642) 8431 FAX.03 (3643) 5560
名古屋支店	〒452-0962	愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052 (409) 8711 FAX.052 (409) 8716
大阪支店	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
エンジニアリング事業部	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 4011 FAX.06 (6308) 6416
福岡営業所	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092 (641) 2025 FAX.092 (641) 4022
札幌営業所	〒061-3244	石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.0133 (76) 6177 FAX.0133 (76) 6178
仙台営業所	〒981-0904	仙台市青葉区旭ヶ丘1丁目42番55号	TEL.022 (272) 1323 FAX.022 (272) 1324
千葉営業所	〒270-1403	千葉県白井市河原子木戸場364番地13	TEL.047 (492) 1901 FAX.047 (492) 1903
神奈川営業所	〒252-0244	神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042 (764) 4835 FAX.042 (764) 4836
滋賀営業所	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964
姫路営業所	〒670-0073	兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号	TEL.079 (299) 5959 FAX.079 (299) 5960
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082 (277) 6464 FAX.082 (277) 6461

本社工場	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
滋賀工場	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964

ホームページアドレス <http://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1154
'17.2.21版 3,000N